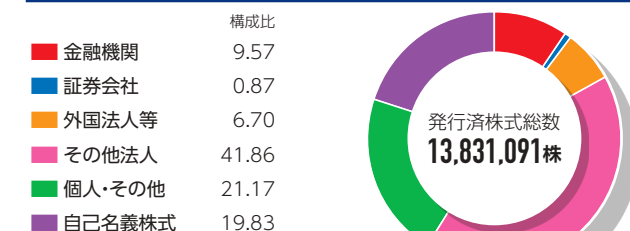


株式状況	(2022年9月30日現在)
発行可能株式総数	19,900,000株
発行済株式総数	13,831,091株
株主数	11,366名

大株主(上位10名)	(2022年9月30日現在)	
株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
平澤 創	4,832,638	43.58
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	578,000	5.21
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	394,600	3.55
株式会社第一興商	367,363	3.31
RMB JAPAN OPPORTUNITIES FUND, LP.	286,010	2.57
吉本興業ホールディングス株式会社	206,870	1.86
日本証券金融株式会社	176,700	1.59
NOMURA PB NOMINEES TK1 LIMITED	147,460	1.32
株式会社講談社	138,400	1.24
三井住友信託銀行株式会社	112,500	1.01

※当社は自己株式を2,742,357株所有しておりますが、上記大株主から除いております。  
 ※持株比率は自己株式(2,742,357株)を控除して計算しています。  
 ※持株比率は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しています。

所有者別分布状況(%) (2022年9月30日現在)



※発行済株式総数 13,831,091株の構成比率です。  
 ※構成比の表示単位未満の端数は、四捨五入して表示しています。

株主メモ	
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
単元株式数	100株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎0120-782-031
電子公告	電子公告 <a href="https://www.faiith.co.jp/ir/koukoku/">https://www.faiith.co.jp/ir/koukoku/</a> ただし、電子公告による公告をすることができない事故その他のやむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に掲載して行います。
公告方法	

お知らせ

- 証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会には、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三井住友信託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関にお問合わせください。  
 なお、三井住友信託銀行株式会社各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行株式会社の本支店でお支払いいたします。
- 配当金の口座振込をご指定の株主様と同様に、「配当金領収証」により配当金をお受け取りになれる株主様宛にも「配当金計算書」を同封いたしております。配当金をお受け取りになった後の配当金額のご確認や確定申告の添付書類としてご利用いただけます。(株式数比例配分方式を選択された場合の配当金のお振込先につきましては、お取引先の口座管理機関(証券会社等)へお問合わせください。)

免責条項

本報告書に記載されている将来に関する予想については、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。実際の業績は、様々な要因の変化により、異なる場合があることをご承知おきください。  
 本報告書に記載している会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

**ウェブサイトのご案内**  
 フェイス・グループ各社のサービスや注目のコンテンツ情報、最新トピックス等を掲載しています。  
<https://www.faiith.co.jp/>

**「Thumva®」公式ウェブサイトのご案内**  
 オンライングループ視聴が可能な新感覚ライブ配信サービス「Thumva®」(サムバ)の情報を掲載しています。  
<https://thumva.com/>

**株式会社フェイス**  
 〒604-8171  
 京都市中京区烏丸通御池下る虎屋町  
 566-1 井門明治安田生命ビル  
<https://www.faiith.co.jp/>

お問合わせ先 **TEL. 075-213-3933**  
**FAX. 075-213-3833**



**Semi Annual Report**  
 2022.4.1 – 2022.9.30

株式会社フェイス | 第31期上半期 営業のご報告



## 新回生 ~新しい挑戦のはじまり~

代表取締役社長

平澤 創

2022年10月9日、創業30周年を迎えたフェイス・グループは新たな局面に入ります。創業から現在まで、その沿革をたどれば、企業理念である「あるものを追うな。ないものを創れ。」を体現し、日本初・世界初を数多く生み出すことにより、音楽を取り巻く環境の変化に振動を与え続けてきた30年だったと振り返ることができます。

しかし今、歴史上初めて、音質はもとより、フィジカル・パッケージの規格に合わせた楽曲の時間的制約や制作スタイルを含め、これまでのあり方すべての崩壊を包容する時代となりました。

※Web3 パブリック型ブロックチェーンに基づいた次世代の分散型インターネットの総称

インターネット社会の到来後、音楽流通はすでに配信ビジネスに置き換わったという人もいますが、それは単なる流通経路の変遷であり、音楽流通革命ではありません。あくまでもこれまでに存在しなかった「音楽を伝えたい人がダイレクトにユーザーに届けられる仕組み」を創り上げること、それがフェイス・グループの最たるミッションです。

このミッションにはインターネットそのものがWeb3\*の新しい時代に突入する今という時に、改めてレコード会社の本質的な役割の一つ、レコード=記録の面から、音楽の著作物を管理し、その権利を守り続けていくための革新的な仕組みづくりも含まれます。

創業時に描いた未来予想どおりの世の中に近づきつつある今、建設的な失敗を恐れずに挑戦していく土壌が緊要であり、未来に向かって原点に戻る、その時にあると実感しています。

30周年の今年、以下の3点を「新回生」の主軸とし、新たな挑戦に掲げます。

『より一層、新たな事業に挑戦しやすい経営スタイル・組織づくりへ』

『独自性と創造性に溢れ、もっと自由に可能性を探求できる風土の再生へ』

『あらゆることを根本的に変えながら、  
新たな音楽ビジネスの創造に向け、呼吸するグループへ』

さらなる進化に向けて、その動きを加速します。  
始動する新回生フェイス・グループ~新しい挑戦の始まり~にご期待ください。

『あるものを追うな。ないものを創れ。』

創業30周年記念「30歳メンバーと創業期メンバー対談」

## この先の未来に創るもの

2022年10月9日、創業30周年を迎えたフェイス。今回はフェイス誕生の年に生を受けた30歳メンバーと創業期メンバーとの対談を通じて、フェイス・グループの「これから」を考えます。



フェイス  
イベントソリューション事業本部

稲生 裕二

日本コロムビア  
クリエイション事業部

木下 由佳

日本コロムビア  
コロムビアハウス事業部

市来 達志

日本コロムビア  
ダイレクトマーケティング部

小川 健吾

1992年、フェイス創業と同時に参画。フェイス初商品となった音楽のデジタルデータ(MIDI)、携帯端末のプリセット音源の制作から仕様調整、自社開発の近距離通信機能を利用した権利認証サービス「NFRM(Near Field Rights Management)」等の多数のサービス開発、内製管理、広報IRなどを経て、2017年よりロケーションビジネスの推進に従事。

1995年入社。家庭用通信カラオケ「LANA Online City」、インターネットカラオケ「KaraOK!」プロジェクト、Compact MIDI全携帯メーカー搭載時のメーカー折衝・調整等に従事。その後、音楽制作全般のマネジメント等を経て、現在は日本コロムビアにてゲーム会社や遊技機メーカー、映像制作会社といった外部顧客からの依頼を受けて楽曲を制作しているほか、一部ライセンスアウト業務などを手掛けている。

2016年入社。音楽だけでなく芸術含む文化全般に興味。入社試験の最終課題がインタビューの形で多数社員にインタビューし、新規ビジネスのプレゼンだったこともあり、日本コロムビアの100年を超える伝統とフェイス・グループらしく新しいことに挑戦し続ける会社だという印象を受けて入社。営業を経て、現在はコロムビアハウス事業部の中のエデュケーショナルビジネスユニットで子供向け音楽の制作を手掛けている。

2017年入社。家族や周りの影響で幼少期から大量のCD、レコードに囲まれ様々な音楽に触れてきた。海外音楽への関心が強く、多彩なジャンルを有する日本最初のレーベルへの入社を希望。デジタルマーケティング、メディア部門の営業を経て、ダイレクトマーケティング部で自社EC「コロムビアミュージックショップ」の運営・管理に従事しつつ、プロジェクトメンバーとしてグループ横断制度の提案、推進を行う。

コミュニケーションが盛んになり、新しいものを生み出す土壌が整いつつあるフェイス・グループ

市来：2021年2月から新オフィスに集結して以降、フェイスをはじめ、いろいろなグループ会社の方と交流する機会は非常に増えました。

小川：オフィスシェアリングのような感じですが、私自身は入社時間が増えたいと思うリモート勤務大好き人間なんです。出社して生身でしっかりコミュニケーション取りたい人もいる中で、お互いをつなぐコミュニケーションツールの導入も進み、今まで以上に話ができる環境になったと感じています。

稲生：ツールの活用もそうだし、グループ横断プロジェクトとして定期的に情報交換をするコミュニティ「南青山サイファー」も始まったよね。

小川：そうですね。実際の業務内容だけでなく、今、気になっていることなどに関して、意見交換したり相談したりする場として定期的に開催されています。

稲生：先日、初めてのリアル集会に参加したけど、20名くらい集まっていたね。

小川：日本コロムビアの阿部社長も参加していて、これまで相談しなかったけれどタイミングが合わずに消えてしまっていたようなこともスピーディに動けるような場所になりつつあると感じています。

**稲生**：比較的、若い世代の参加者が多くて、今、ロケーション事業で展開しているアートアクアリウム\*1でキャストイングして曲を作ったコンテンツの配信等についての動きも「南青山サイファー」経由で加速させてもらっている。他にも具体的なものばかりでなく、「次なる何か」について話すということも本流の一つだよね。

**木下**：そうしたコミュニケーションツールの導入やコミュニティの運営もトップダウンではなく、若い世代が自ら動いて立ち上げていて、いい感じに融合し始めているなど見えています。

**稲生**：このオフィスのあり方や新しいコミュニケーションの場はリモートワー

クを導入したことで実現していて、これが機能するというのは本当に大きなチャンスを保っているよね。

**市来**：もう前のオフィスは考えられないくらいです。新オフィスの各フロアは特徴が違って使い分けができるし、会社に来ていただいた初めましての方でも会議室に入った瞬間に会話が生まれ、話が弾むし、「次回はまた別のルームで」と楽しみにもしてくれます。実は今日もアーティストの配信ライブの撮影をしました。1階にオープンした『song & supper BAROOM』(ソング アンド サパー バルーム。以下、BAROOM\*2)も、打ち合わせ利用できるというのですが。

**稲生**：BAROOMは、今はホールでのイベント開催ほか、18時からレストランでオープンしているんだけど、もう少し早い時間からスタートして、カフェとして打ち合わせにも利用いただけるようにしたいし、打ち合わせ利用の延長で、ホールの活用や夜の会食にも利用してもらえる場にしていきたいですね。

「あるものを追うな。ないものを創れ。」はチャレンジャーを応援する最大のメッセージ

**市来**：日本初、世界初のサービスをどう生み出してきたのか、日本コロムビアもそうした歴史があるけど、もう創業の方に話を聞くことができないので、フェイスの話はお二人に聞いてみたいです。いいサービスでも実際に広めるのは難しいし、どう乗り越えて来たのか興味があります。

**木下**：入社間もない頃は、「音楽自体を新たな試みで一般の家庭に提供していく。」ことをやろうとしている会社なんだと理解していました。まあ、今も新しい音楽の生み出し方・届け方・楽しみ方を提供していくという想いは変わらないか。今のようにインターネットですぐに情報を取れる時代じゃなかったから下手に調べたりすることなく、怖いもの知らずで、とにかく進むのみみたいなのところもあったよね。

**小川**：リスクなしに成功はなし得ないから、やっぱりやってみること、進むことが大事なのかもしれないですね。

**木下**：先日、お客さまから「僕、『日曜音楽』すごく使っていた」って言われたんですよ。1996年に発売した自宅で手軽に音楽データが作れる音源とソフトウェアをセットにした商品。

**小川**：ネーミングもいいですね。日曜大工のような感覚で週末に音楽を創ることですよね。

**木下**：そう。一般の人たちにとって音楽を身近なものにさせたかった。これは成功した例だけど、実際、これまで生み出されたサービスの中には、普及しなかったもの、早すぎたと表現されるものもたくさんあるんですよ。

**小川**：ユーザーの情報感度や寛容性が追いつかず、広まらないということが大きいですね。今もWeb2からWeb3へ移行しつつある時代、まだ様子見の人たちが多いけれど、新しいものが生まれてくる過程で脳内が整理されてきて使われるようになるから、フェイスがやってきた『新しい仕組みを創出していく』という姿勢自体が今の大きな潮流を作り出すきっかけの一つになっていたのでは、と思ったりします。

**市来**：そうした挑戦を続けているからこそ、次のヒットにつながる。挑戦し続けているのが本当にすごいな。実際、こんなに分厚い年表があると思っていな

くて。これすべて挑戦の歴史ですよ。最近、シティポップが注目されていたり、30年ってブームが一巡するサイクルかなと思っていて、この30年の歴史があるのはすごく強いですよね。当時は広がらなかった事業でももしかしたら今、盛り上がることもあるかもしれないし、この歴史をもう一回見つめて、新しい発想を加えて次を創ることに自分も関与したいと思います。

**木下**：素晴らしい。

**稲生**：フェイスは30周年だけど、コロムビアは110年を超えているし、2回、3回とそのサイクルを経ているわけで、それは本当に強いよね。

**小川**：単純に着メロ・着うたのリバイバルはめちゃくちゃ面白いかなと思います。あと、フェイスの創業期はインターネット黎明期で、新しいアイデアがどんどん具現化できた時代だったんだな。今は新しい黎明期の真っ只中だとも言えるので、企業理念「あるものを追うな。ないものを創れ。」がまさに生きるタイミングなのかなとも思いました。

**市来**：本当に。新しいプラットフォームを構想する側の仕事もやってみたいという気にもなりますけど、エンジニアじゃないから…。

**稲生・木下**：自分たちもエンジニアじゃないので、興味があるなら是非チャレンジしてください。

**小川**：私自身、グループ横断プロジェク

トのメンバーに選出いただいて、コンテンツ事業とプラットフォーム事業の連携を強固にするような取り組みを増やしたら、強いグループシナジーを生み出せるということへの気付きもあって、そうした動きも加速していきたいし、恐れ多いと感じる上層部へも若い世代が忌憚のない意見を言えるような場をつくっていただけらなと思っています。

**木下**：恐れ多いって(笑)。フェイスのスタート、社長も含めてみんな30歳以下、25~26歳だったよ。

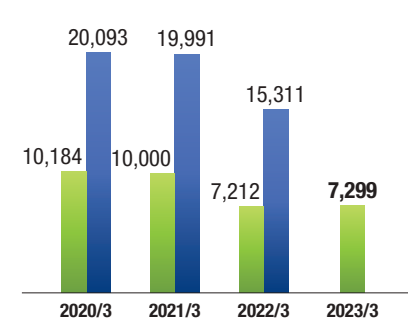
**稲生**：30歳は会社を創ってまさに盛り上がっていたときだね(笑)。

**市来**：僕はコロナ禍を経て仕事について迷っていたところも多かったんですが、今日はいろいろ話を聞けて、フェイス精神を活かして、自ら新しいプラットフォーム、新しいビジネスを考えていけばいいんだとすごく刺激になりました。グループのシナジーをフルに発揮して、皆さんの力を借りながらガツガツと新しいものを生み出せたらと感じました。

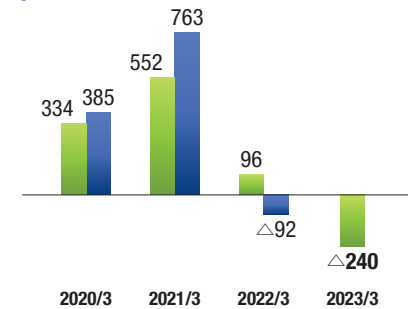
**稲生**：我々の世代も自分たちだからできることにチャレンジしていこうと思っています。若い世代も仕事だけでなく、何事も、やり遂げる、やり切るぞという気概をもって楽しんでください。平澤社長が「仕事は楽しむもの」とよく言いますが、楽しさは人それぞれの感覚だからこそ、自分の中に情熱を見つけて、ともに新しいことに挑戦していきましょう。

## 連結財務ハイライト

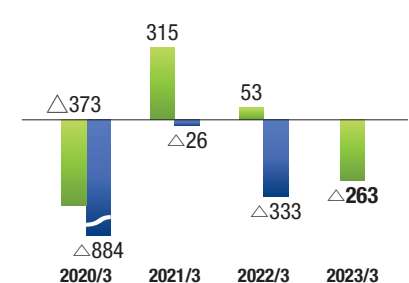
### 連結売上高 (単位:百万円)



### 連結営業利益 (単位:百万円)

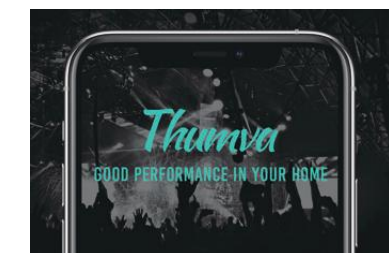


### 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (単位:百万円)



## TOPICS

### 「貞子」とコラボしたUSJの大人気オンライン型ホラー・イベントが「Thumva®」にて配信



新感覚ライブ配信プラットフォームサービス「Thumva®」(サムバ)にて、11月25日(金)~12月4日(日)の期間にユニバーサル・スタジオ・ジャパンのオンライン型ホラー・イベント「貞子 ~ 禁断のオンライン・パーク・ツアー~」の配信を全18回にわたり実施いたしました。本イベントは、「Thumva®」でオンライン型イベントに参加しながら、グループビデオ通話機能を用いて、仲のよい友だち同士や遠く離れた友だちと一緒に「貞子」の恐怖をリアルな感覚で体験することができます。「Thumva®」は今後も「GOOD PERFORMANCE IN YOUR HOME ~ 心躍るライブ体験をあなたに~」を掲げ、自宅でも楽しめる「新たなエンタテインメント」を提供してまいります。

\*1 アートアクアリウム美術館GINZA <https://artaquarium.jp>  
\*2 song & supper BAROOM <https://baroom.tokyo>

# 一青窈

H I T O T O Y O



その日乗り越えようと  
もがいている人たちに  
このアルバムが届くといいな

—— 2002年のデビューシングル「もらい泣き」で注目を集め、2004年には「ハナミズキ」が大ヒットとなりました。当時、一連の流れのなかでどんな気持ちを抱きましたか。

渋谷駅の東横線乗り場のつり広告に自分の顔がざざーっと並んでいて、うれし恥ずかしでした。とてもビックリしながら、「デビューするってこういうことも引き受けることなんだ」と覚悟を決めた記憶があります。

—— 10月30日にデビュー20周年を迎えました。印象に残っている出来事があれば教えてください。

テレビ番組の収録で、早朝の寒い公園のなかにある池の孤島で生歌唱する機会があり、霜柱が立っているなか、「はだして歌ってください」とロングのダウンジャケットを着ているスタッフをお願いされて、薄いワンピース1枚で歯をガタガタさせながら「本番！」の声を待っていたことがありました。「芸能界って、厳しいところだなあ……」と歯を食いしばったのも、今はいい思い出です(笑)。

—— 20年間の活動を経て、デビュー当時と今では、歌うことに対してどのような変化がありましたか？

「新人」という冠のもとでは割となんでも許されることが多かったのですが、キャリアを積むにつれ、どんどんプレッシャーが増しているような気がします。

—— コロナ禍によってアーティスト活動が制限されました。どのような活動をし、日常を過ごされていたのでしょうか。

七輪で魚をじっくり焼いて食べたり、保育園のない我が子と目いっぱい空き地でかけっこしたり、普段、時間をかけてできないことを謳歌していました。また、友人に紹介してもらったミュージックビデオの作家さんにYouTube映像を作成してもらって新曲をアップするなど、面白いことにも挑戦できました。そのために、実家の部屋を模様替えして、居心地のいい空間をつくることにもチャレンジしましたよ。

—— その間、アーティストとしてのお考えに変化はありましたか？

やはり、リモートで人と話すというのは匂いも人柄も分からないし、しゃべるタイミングもうまく噛み合わないのが、苦手だ

なあと実感しましたね。大切な友人も天国へ行ってしまったり……。人には会っておかなければいけないと痛感しました。

—— 12月18日には約8年ぶりとなるオリジナルアルバム『一青尽図』をリリースされます。

いつも「今」を生きるのが精いっぱい、気付いたら8年もたっていました。そして同時に、伝えたいことがたくさんあったのでこうしてアルバムをリリースします。わたしはいつも、表面だけの出来事にとらわれず、身勝手に否定や悲観もせず、人々が持っている希望を見つめたいと思っています。先行シングル「耳をすます」の歌詞は、心の声に耳を傾けたい一心で書いたもの。地べたに寝転がり、じだんだを踏んでいる我が子を見ると、まっすぐ喜怒哀楽を伝えてくれることに安心します。大丈夫ではないけれど、「大丈夫」と言ってその日乗り越えようともがいている人たちに届くといいですね。アルバムタイトルは、美術館で見た職人尽図の屏風があまりに綺麗で、そこから一部切り取りました。その作品は、機械に頼らない江戸時代に、様々な職業の人たちがお互いを支え合って生きていたことが伝わる絵です。そんなふうには、現代を生きる人たちもそれぞれに役割を担っていて、この1秒、1日があるのだと実感してもらいたくてタイトルに拝借させていただきました。

—— 最後に、株主の皆様へメッセージをお願いします。

これからも、人生を楽しみながら、歌ってまいりたいと思っています！



## 「一青尽図」

2022年12月18日発売  
【CD】¥3,300 (税込)

新曲「耳をすます」に加え、10月から公開された映画「役者として生きる～無名塾第31期生の4人」主題歌「あうん」(作曲：長澤知之)、「カノン」(作曲：BONNIE PINK)、「ダイスキダイキライ」(作曲：Chara)、「i?」(作曲：狭間美帆)等、豪華作曲陣による全11曲を収録予定。

**PROFILE** 1976年、東京都出身。台湾人の父と日本人の母のあいだに生まれ、幼少期を台北で過ごす。慶應義塾大学在学中、アカペラサークルでストリートライブなどを行う。2002年、シングル「もらい泣き」でデビュー。翌年、同曲で日本レコード大賞最優秀新人賞、日本有線大賞最優秀新人賞などを受賞。現在は、女優としても活躍し詩集を発表するなど、歌手の枠にとらわれず活動の幅を広げている。

## 会社概要

### 株式会社フェイス

**事業内容** コンテンツ配信プラットフォームの開発  
およびビジネスモデルの構築

**設立** 1992年10月9日

**資本金** 32億1,800万円

**上場取引所** 東証プライム市場(証券コード4295)

**従業員数** 101名(連結442名) ※2022年3月31日現在

### 取締役および監査役

**代表取締役社長** 平澤 創

**取締役副社長** 吉田 眞市

**専務取締役** 中西 正人

**取締役** 鈴木 千佳代

**社外取締役** 別所 哲也

**社外取締役** 正宗 エリザベス

**社外取締役** 水戸 重之

**社外取締役** 瀧口 匡

**常勤監査役** 長吉 晋

**社外監査役** 清水 章

**社外監査役** 菅谷 貴子

### アドバイザー・ボードを構成する社外有識者

**島田 精一** 元日本ユニシス株式会社 代表取締役社長／株式会社お金のデザイン 社外監査役／黒澤合同事務所 顧問／株式会社 ISE 最高顧問／学校法人津田塾大学 理事長／国立大学法人千葉大学 経営協議会委員・学長選考会委員／学校法人根津育英会武蔵学園 評議員／武蔵学園後援会 会長／内閣官房 産業適正に関する有識者会議 委員／公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団 評議員／一般社団法人グローバル教育推進プロジェクト 特別顧問／公益財団法人日伊協会 会長／公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団 評議員／日本ヴェルディ協会 理事／

**大八木 成男** 帝人株式会社 相談役／公益財団法人日本生産性本部 理事／株式会社三菱UFJ銀行 取締役監査等委員／東京電力ホールディングス株式会社 社外取締役／アサヒグループホールディングス株式会社 社外監査役／

**堀 裕** 堀総合法律事務所 代表弁護士／日本ローエイシア友好協会 常務理事／前内閣府 公益認定等委員会 委員／みずほグループ各社 顧問弁護士／株式会社パソナグループ 特別顧問／フィデアホールディングス株式会社 社外取締役／JUK株式会社 社外取締役／在日ロイヤル・タッチ・シエルグループ各社 監査役／国立大学法人千葉大学 理事・副学長、経営協議会委員／サハリンLNGサービス株式会社 監査役／公益財団法人国連大学協力会 監事／公益社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構 理事／公益財団法人沢沢栄一記念財団 理事／日本郵政グループ各社 顧問弁護士／

### フェイス・グループ

コンテンツをユーザーに届けるためのあらゆる機能を有し、ワンストップサービスとしてプラットフォーム化できる企業グループです。



#### 株式会社フェイス・ワンダワークス

日本最大級の着信メロディサイト運営、  
エンタテインメントコンテンツの配信

#### 株式会社ライツスケール

日本最初のiTunes公認アグリゲーター  
音楽配信ソリューションの提供

#### グッディポイント株式会社

総合店舗ソリューションの提供  
新たなポイントサービスの創造

#### 株式会社ワクワクワークス

クラブ等、エンタテインメント企画、運営  
およびコンサルティング業務

#### 株式会社フェイス・プロパティ

イベント施設、スタジオ等の管理・開発、照明・音響・  
映像設備等の管理および操作業務、不動産の賃貸借

#### ジャパンミュージックネットワーク株式会社

音楽情報メディアの運営、メディアコンサルティング、  
国内外のイベント企画制作

#### 日本コロムビア株式会社

日本最初のレコード会社  
ミュージックソフト等の制作、宣伝、出版管理

#### 株式会社ドリーミュージック

ミュージックソフト等の制作、宣伝、出版管理

#### 株式会社KSR

ミュージックソフト等の制作、宣伝、出版管理、  
アーティストのマネジメント

#### 株式会社フューチャーレコーズ

アーティストに関わる著作物の企画制作・管理

#### 株式会社フライングペンギンズ

アーティストのマネジメント業務

※本文書に記載されている商品・サービス名は株式会社フェイスの  
日本またはその他の国における商標または登録商標です。